

# 平成22年 あけましておめでとうございませす



下田市長

## 石井直樹

新年明けましておめでとうございませす。  
市民の皆様には、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。  
平素より市政に対する温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、昨年を振り返って見ますと、8月の総選挙により「国民の生活第一」を訴えた民主党新政権が発足い

ました。  
新政権におきましてはマニフェストを集中的に実行するため、事業仕分けが行われ、事務事業の見直しが行われたことは記憶に新しいところでございます。  
伊豆縦貫自動車道「河津下田道路」につきましても新規着工が凍結されるなどの報道がありました。  
まだまだ方向性が見えないものも多く、これまでの制度が突然に変わってしまふことも想定されます。  
無駄な予算のチェックなどは当然ですが、費用対効果だけで判断できないことも多いと考えておりますので、地方の意見については積極的に新政权に伝えてまいりたいと考えております。  
同じく8月には、駿河湾沖を震源とする地震が発生しました。  
当市におきましては震度5弱を記録しましたが幸いにして、大きな被害はありませんでした。  
予測される東海地震に備え、市の施設についても市民の皆様のお安全安心を確保するため、計画的に耐震化を図ってまいりたいと考えております。  
また、6月には「南伊豆地区1市3町合併協議会」が白紙となりました。  
地方行政を取り巻く環境は、税収の大幅な落ち込み、少子高齢化、地域格差の拡大等依然厳しい財政運営を強いられるものと予想されますが、これらを克服し、まちづくりを進めて行かなければなりません。  
そのまらづくりの指針として新年

本年も財政健全化に努め、市民の皆様と子供達から高齢者まで誰もが安心して暮らすことができる元気なまちづくりのために全力を挙げてまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたしますとともに皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

下田市議会議員

## 増田清

明けましておめでとうございませす。  
厳しい経済情勢ではありますが、新年を皆様とともに迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。  
市民の皆様には日頃から市政に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝するとともに厚くお礼申し上げます。

私は平成21年5月臨時会において、議員各位のご推挙により再任となり、3回目の新年の挨拶となりました。  
就任以来、是々非々をモットーとし、一意専心に市政の進展と円滑な議会運営に微力をささげてまいりました。  
昨年は、伊豆半島の南端に人口約5万人の新しい下田市の誕生を望んでおりましたが、残念なことに1市3町の合併は、破綻という結果となりました。しかし、小規模自治体が共同で各種の事業に取り組む広域行政は重要であり、行財政改革につながるものであります。

産業界においては、就職困難な状況が続いている中、地元の方々が就業できる環境づくりに、議会としてもなお一層努力していく所存であります。

市内経済においては、景気低迷が続く、多くの産業が不況に苦慮している状況を、会社経営者をはじめ市民の皆様も実感されていることと思っております。行政としても、厳しい財政状況の中ではありますが、市民の皆様への付託に応えるべく、初心に立ち、これからもまちづくりに鋭意努力をしていく所存であります。

結びにあたり、議員の責務と役割の重大さをより自覚し、決意を新たに下田市の発展のため、市および議会の行政改革、観光下田としての私たちの活性化に全力で取り組んでまいりる所存でありますので、今後もお支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

少子高齢化の進む中、経済の活性化など多くの問題が山積をしております。また伊豆地域の強い要望でも

平成22年が皆様に幸多い年でありますようお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。